



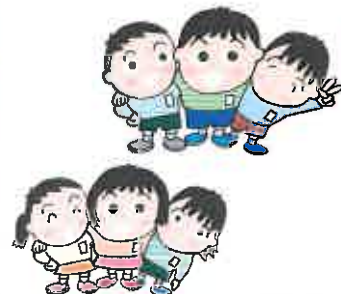
### 新年度スタート

今年度から「まごころレフト」「まごころライト」と名前が変わりました。年齢別ではなく子ども達の特性に合わせたデイでの過ごし方を考え、このような形をとることにしました。

利用する子どもたちの顔ぶれも変わったので、レフトでは最初の週に『自己紹介カード』を配りみんなで自己紹介をしました。



名前、年齢、学校、好きな事などを書いてくれています。



その後、順番に発表していきました。緊張している様子もありましたが、しっかり自己紹介してくれて、「〇〇って呼んでください」「好きなおやつはバナナです」など自分のことをみんなに知ってもらい、いい機会になったのではないかと思います。

部屋の構造化なども今のままでなく、少しずつですが変えていき、子ども達が楽しく安心して過ごしていけるようにしていきたいです。不慣れなところもありますが、今後ともよろしくお願いいたします。

### デイサービス通信

#### お別れ会

3月は別れの季節、デイサービスでも開所以来の利用者さんが施設入所されました。Sさんのお別れ会をまだ桜が5分咲きの3月のある日に行いました。

皆で事務所の前にある公園の桜見物に出かけ、記念撮影もしました。午後からはSさんに関わったヘルパーさんたちも駆けつけ、寄せ書きをしたり、一緒におやつを食べたり、Sさんとの今までの思い出を語り、「今日の日さようなら」の唄で締めくくりました。

寄せ書きでは、Sさんの「笑顔が忘れられない・・・」との印象が多くありました。いつも物静かで、笑顔を絶やさないSさんでした。

今年は花見も雨にたたられて残念でしたが、室内で4月のはじめ花見田楽を楽しんでいただきました。皆さんお腹いっぱい手作りの田楽をいただき、満足そうでした。



い〜つまでも〜たえる〜ことなく〜♪



<昼食づくり> いなり寿司を手作りしました。

### 心っれづれ

#### まごころさんにお世話になったきっかけ

平成 18 年 10 月頃、知的障がいの子供が高1の時、耳の手術「右癒着性中耳炎と右鼓室形成術」をしました。この頃私が精神的にとっても辛く、今後どうしたらいいか不安で、まごころさんにご相談したことがきっかけでした。

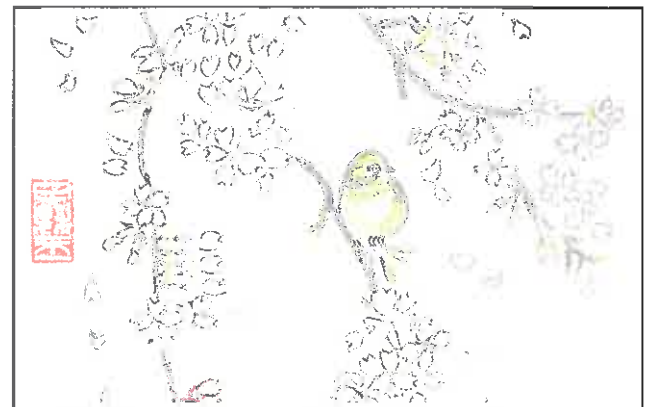
下の弟の子供会の行事ごとや、作業所、福祉会のバザーのボランティア参加などの時、ヘルパーさんに入って頂いていました。

2年前に左右の耳「滲出性中耳炎」になり、鼓膜切開孔に小さなチューブを挿入し、今は安定しています。

平成 17 年夏頃、親子で太鼓の会に入会したのですが、最初は練習に参加できず、大変な時期でした。太鼓の先生から「お母さん、子供と離れてヘルパーさんについてもらうといいかもしれませんね」とアドバイスをいただき、平成 21 年 10 月から、ヘルパーさんと太鼓練習に参加できるようになりました。

いろんな方に支えられ励まされ、今親子で楽しく太鼓練習、フェスティバル、交流会に参加できるようになりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

中山 あき子



絵：高島 幸子

### ヘルパーだより

#### NO. 35

週 1 回、A 子さんの入浴介助に訪問するようになって 6 カ月が経った。

顔を見て挨拶すると「こんにちは、待ってたわ」とニコリ。脇に挟んだ体温計を出して「36.6 度だよ。いいねー」と、またニコリ。体温計の数字もしっかり見え、「今まで編み物してたよ」とか「今日はミシンをやっていたよ」と言われる。

ご家族の留守の時間帯の入浴であるが、洗髪と背中洗いをお手伝いし、浴槽への出入りを見守り、居室へは両手をしっかりとって移動する。脚力の弱りが否めなくも無いし、ペースメーカーを装着しておられ、補聴器も使用しておられるが、「川崎のあの子、可哀想にね…」と時事ニュースなども知っておられるのでビックリ。「お風呂はいいね。気持ち良かったわ。あらまあ、もう時間だよ！」と退去の時間をヘルパーに教えてくださる。

「可愛いおばあちゃん」と言う言葉がぴったりの御歳、94 歳、要介護 2 の A 子さん。ご家族から大事にされておられるのが感じられ、ヘルパーとしても嬉しく実家の母に会いに行くような、自然とそんな気持ちにさせてくださる A 子さんである。



#### ご家族からのことば・・・

今年 94 歳になる義母は「まだできる。まだやれる。」と昔から何でもこなす人でした。それが最近気持ちに体がついていかず、少しずつ手助けが必要になっています。これからは手助けしていただく事が増えていくと思いますが、末永くよろしく願いいたします。

